

いま、消防団に加入を考えているあなたへ！

よくある質問にお答えします

- ・消防団って何するの？
災害などの際に自分の地域を守ります。普段はそのための訓練をしています。
- ・どんな人が参加しているの？
大町市では18～50歳までの様々な職種の方が参加しています。また、活動中は特別職の地方公務員(非常勤)となります。
- ・消防団に加入して、よかった事ってありますか？
 - ・活動を通して仲間が増えました。
 - ・資格や知識が身に付きました。
 - ・地域がより身近に感じられるようになりました。
- ・わたしに消防活動ができるんでしょうか？
地域や家族のためにはと思えるなら、じゅうぶん活躍できます。
- ・仕事が遠方でも大丈夫？
仕事中に無理する必要はありません。都合のつく時に出来る範囲で参加をおねがいしています。
- ・職場の理解が得られますか？
消防団協力事業所表示制度により、消防団員を優遇する企業が増えています。
- ・早朝に訓練があるのですか？
夏場にありませぬ。団員の都合に合わせて、夜間訓練にしている場合もあります。
- ・地元に関わり合いがなくても大丈夫？
大丈夫！新しい仲間と出会うチャンスですよ。
- ・上下関係が厳しいと聞いたのですが？
訓練・災害時などでは安全確保等のため当然厳しくなります。
- ・出勤回数が多く、自分や家庭を犠牲にしていると耳にしますが？
災害が続けば出勤がかさなります。しかし地域や家庭の安全・安心につながっていると信じ、活動しています。いずれの活動も強制ではありません。
- ・ハッピーが時代遅れでは？
ハッピーは伝統着として大切に捉えています。訓練や災害時などでは、活動服(青色)を使用しています。
- ・お酒の席は多いですか？
消防行事・訓練などの後、慰労会があります。気楽にご参加ください。
- ・こわい人はいますか？
いません。
- ・女性の消防団員はいますか？
すでに大勢活躍されていますが、どんどん募集しています。
- ・嬉しいと思うのはどんな時ですか？
ちょっと照れくさいけど、地域のひとたちに「ありがとう」と言ってもらった時です。



これで解決！
消防団★

どんな活動をするの？
仕事と両立できるの？
両親・家族は反対・賛成？
…最初は誰でも不安でいっぱいでした。

自分の暮らす地域に愛をもち活動する
現役団員たちがどんな活動をしているのか、
各地域の仲間の雰囲気を取りまぜて
レポートします。

消防団員が作った 大町市消防団の紹介



消防団は消防組織法に基づく消防機関であり、地域に貢献するボランティア集団です。

本部分団（おおまち市全体）

Q. 本部分団ってどんな分団ですか？

A. 他の分団と違い、大町全域から集まった人たちが形成された分団です。主な仕事は消防行事の準備をしたり、消防防災課のお手伝いをしたりいわば消防団の事務的存在です。

Q. 操法大会には参加するのですか？

A. 本部分団は、人数も少なく、仕事量も多いので操法大会には出場いたしません。体力に自信がないけど大町のために役に立ちたいとお考えの方には本部分団をお奨めいたします。

Q. 本部分団に入って何かメリットはありますか？

A. 消防団の仕事は、決して楽とは言えません。しかしながら、様々な苦勞をともにした仲間の結束はとても強いものです。地域密着の中で、普通なら知り合えない人とも知り合いになれます。

お金では買えない大切なものを得ることが出来ます。

第4分団（やしろ地区）

☆雰囲気明るく世代を超えた、優しく、面白くて心が通じる仲間が作れます。「自分の地域は自分で守る！」という使命感に燃えた仲間達です。

☆火災予防が優れており、ここ数年社地区内の火災がなく、出勤回数は少ないです。

☆楽しい訓練ばかりが消防ではありません。慰勞をかねた楽しい飲み会や旅行などもあります。

☆国宝仁科神明宮など貴重な文化財が多いため、それらを守るべく、日々の火災予防や訓練に励んでいます。

第1分団（おおまち地区）

大町市の中心部に位置し、大火のあった地区でもあります。大火を教訓にして防災活動に取り組んでいますが、若い人材が不足している分団でもあり、まず自分自身が火事を起こさない、出さない気持ちを持つ活動をしています。地域の皆さんと共に消火器訓練や災害時の対応など防災活動に取り組み、意識の向上に努め地域の安心安全を保ちます。消火活動では、出番の多い分団でもあります。若い力を貸してください。



第5分団（やさか地区）

八坂地区は、大町署からの到着時間がかかること、中山間地であることが特徴です。もしもの時は、大切な人、大切な家族を「我々が守らなければ誰が守る」という意識が強く、皆で結束し、住民に密着した活動を行います。消防活動に真面目に取り組む一方で、アットホームな交流の場として皆が集まっています。

第2分団（たいら地区）

観光地を守れ！

平地区にはスキー場や仁科三湖、黒部ダムに関連した施設や温泉郷などがあり、観光客が多く集まる地区。そのため、市民だけでなく日本全国から集まった人たちを災害から守るという使命があります。

第3分団（ときわ地区）

あなたの力があなたの地域（常盤）を守ります！！

第3分団は各公民館ごと6つの地区に分けて活動をしています。子供の頃から知っている先輩・同級生・後輩がたくさんいます。明るく、楽しく（時には厳しく）活動できます。消防団活動は苦しいやな事ばかりではありません。仲間がいます。あなたの力を待っています。

第6分団（みあさ地区）

美麻のコトを美麻の人が考える…アタリマエじゃん！

となり近所の良好な関係こそ防災の基本、そして美麻の自慢です。[ターン移住のみなさんも積極的に活動して]こどもたちとのコミュニケーションも良好です。なにはともあれ楽しくムリせず活動しましょう。団員が主役の6分団です。

資格は大町市在住の18歳～50歳迄の健康な方です。色々な活動の場がありますので、どんどんご応募ください。大町市消防団には、大勢の女性団員がいて男性と全く対等に活動しています。女性の方も遠慮なくご応募ください。